

第2期 栗山町ケアラー支援推進計画

— 全てのケアラーが個人として尊重され、
健康で文化的な生活を営むことができるまち —

令和6年度～令和8年度
(2024) (2026)

ケアラー支援の未来

第2期ケアラー支援推進計画を策定

本計画は、ケアラー支援条例に基づき策定された計画で本町全体に一層のケアラー支援の輪を広げることで、全てのケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現を目的とする3カ年計画です。

6つの施策体系

- 1 ケアラー支援の必要性や知識を深める
広報および啓発活動
- 2 包括的な相談・支援体制
- 3 障がい者および子育て支援の充実化
- 4 ケアラー支援を担う人材の育成
- 5 ケアラー同士が交流・情報交換できる場の
設置
- 6 国、道、関係市町村への情報発信および
要望

重点①



ケアラー月間またはケアラー週 間の実施

町全体での「ケアラー」の認知度をより高め、ケアラーが地域とつながり続けることができる社会を目指して集中的に広報・啓発を行います。

重点②



ケアラーサポーター派遣対象者の 拡大と、活動の充実化

ケアラーサポーターによる傾聴ボランティア活動に取り組んでいます。今後、訪問対象者を広げ、ケアラーの悩み事・心配事を受け止めることができる体制づくりをより進めていきます。

重点③



ヤングケアラー相談支援体制の 確立

子どもたちがケアでの悩みを抱え込み、体調を崩してしまう前にヤングケアラーの早期発見と、相談・支援体制を確立できるよう、関係者間でその方法を協議します。



栗山町地域包括支援センター
おおや ひろし
大家 洋志 社会福祉士

Interview

計画を通じてケアラー支援の輪をこれからも

計画では、町全体でケアラー支援の輪を広げるために、町民、事業者、関係機関の皆さんで将来像を定め、これからの町のケアラー支援の方向性を明確にしました。今後も全てのケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる「まち」を目指して、施策を推進します。2年半掲載してきました「ケアラーの窓から」のコーナーは今回で一区切りとなりますが、今後もケアラー支援の情報は、特集やニュース記事などでお知らせしたいと思います。これまでご覧いただきありがとうございました。

栗山学び隊 No.48

これからはじまる、介護を学ぶ日々

みやした ゆい
宮下 結衣 さん (介護福祉学校1年)

町と介護人材確保に関する協定を結ぶ今金町からの推薦学生として入学した宮下さん。入学式では、新入生代表として介護のスペシャリストを目指すことを誓いました。

中学生の頃、祖母がケガをした際に介護の大切さを知り、興味を持ったとのこと。 「おばあちゃん子だった私にとって大きなきっかけでした。自分も人の役に立てる介護の仕事がしたい」と思っていました。

地域で輝く介護福祉学校と栗山高校に通う皆さんの様子をお届けします



女子野球の舞台で最高の結果を

にい か の ん
新居 可乃音 さん (栗山高校1年)

入学式で新入生代表として、挨拶の大役を務めた新居さん。「栗山高校の生徒である自覚を持ち、将来に向けて努力し続けます」と堂々と誓いました。

現在膝のけがの影響から、復帰にむけてのリハビリを行っているとのこと。 「焦る気持ちもありますが野球を客観的に見れる今だから過ごせる時間を大切にしたい」と前向きに話します。

